

## 試験機事業の納入実績のご紹介

### 「レール締結装置の性能確認試験装置」

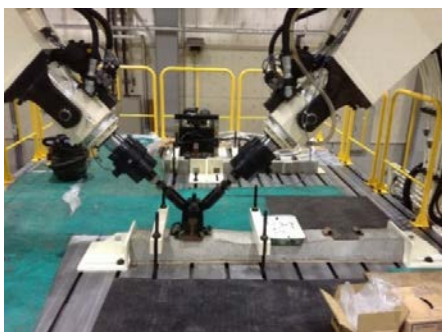
平成 26 年 2 月 東日本旅客鉄道株式会社 研究開発センター殿 納入

列車が安全・快適に走行するための条件として、レールとマクラギがしっかりと固定されている必要があります。このレールとマクラギを固定する部品は「締結装置」と呼ばれており、板バネ式や線ばね式など、さまざまな形式があります。これらは、カーブや直線、列車の多さやスピード、車両の種類などにより要求される性能が決まっています。新しく開発された締結装置は、これらの決められた性能を確認する必要があり、本装置により、締結装置の性能確認試験が行えます。

#### 〈試験装置の概要〉

高さ 6.3m、幅 7.8m、奥行 8m の装置であり実際の軌道（レールとマクラギ）を加工せずにそのまま設置して試験が行える世界最大の試験装置です。

本装置の荷重装置は流体静圧軸受を採用しており摺動摩擦が極めて少なく制御精度及び耐久性に優れています。



2 軸斜角荷重載荷



水平荷重載荷